

国語科学習指導案

日 時 2006年8月30日(水) 5校時
児 童 3年生 1名 4年生 3名 計4名
授業者 阿部 希代子

1、単元名「楽しく伝え合おう」

2、単元について

(1) 単元のねらい

1学期に話すこと、聞くことの単元では、スピーチの仕方について学習してきた。その単元では、3年生は、自分のお気に入りの場所を中心に、自分がどのように「子ども広場」で、1日を過ごすのか順序をカードに表し、相手に分かりやすく話すことを目標にして、話す練習に取り組んできた。4年生は、「わたしの〇〇」で、聞き手に一番伝えたいことをテーマとして、自分の名前の由来について調べ、両親の想いから、どんなことを感じたか。伝えたいことや考えがはっきりと相手に伝わるようにスピーチの内容や発表の仕方を工夫して取り組んできた。

今回の単元では、グループや学級での話し合いから、書く学習へ移行する展開となっている。話し合い活動については、異学年同内容で行い、書く学習では、異学年異内容で学習を進めていきたいと考えている。

遊びに限らず、様々な活動を実行するためには、計画や手順を話し合う活動が多用される。また、学級全体で活動するには、分担する場面や一齐に活動する場面が出てくる。ここでは、学級集会を行うために、お互いの提案をもとに、考え方の共通点や相違点を明らかにし、学級全員の共通理解を図る場面を取り上げていきたい。また、学級集会の開催を色々な人たちに知らせるために、案内状の書き方や新聞の書き方を学び、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」一連の言語表現活動を行うことができる。そして、ここで得た力が、他の教科・領域かされることを期待している。

(2) 研究主題との関わり

豊かに表現できる子どもとは、

の研究主題を目指すために、

本単元では、自分たちの学校生活をより楽しくしていこうという考えをもとにして、集会のための話し合いが計画されている。そこで、この単元での「豊かに表現できる子ども」とは、自分の意見や考えを自分の言葉で表現しようとする子どもであるとおさえる。

伝え合う力育てる授業とは、

本単元では、集会にテーマを持たせていくことから始める。テーマを持たせることで、

テーマに沿って考える力がついていくと考えられる。そして、集会に向けての全体の流れを、全員で計画していくことで、見通しを持った活動ができる。話し合い活動では、3年生は、自分の考えを分かりやすく話すこと。4年生は、テーマに沿った考えを発表できること。お互いの考えの共通点や相違点を探しながら聞き、話し合うことで「集会」を学級全体のものとして、企画していくことができる。

(3) 仮説について

仮説1 話す・聞く単元において、学年の系統性を踏まえ、指導することにより、自信を持って目標に向かうことができ、豊かな表現ができる。

に関わって、話す・聞く能力系統表より

- ①・話の中心をはっきり決めて話す
- ②・相手の話を受け止めてから自分の考えを伝える

仮説2 自分の考えをしっかりと持ち話し合い活動ができるようにするために、ワークシートの工夫により、自分の考えを伝える力や相手の思いを聞き取る力を育てることができる。

に関わって

- ①「遊び」についての情報を集めておく。(遊びワーク)
- ②相手の考え方と自分の考えの違いを明確にするワークシートを工夫していく。

仮説3 自分の思いを発表する場面をより多く設定し、意見を持つ工夫、伝える工夫を重ねることにより、自信を持って伝え合うことができる。

に関わって

- ① 日常の発表では、自分の考えを相手に分かりやすく伝えること。
(声の大きさ、読み方、内容を簡単になど)
- ② 相手が興味を持ってくれるようにまとめること。

3、児童の実態

日常生活では、活発な児童が多く、様々な場面で率先して行動できる。3年生は、男子1名ということで、4年生女子3名との関わり方が心配されたが、仲良く、協力して行動できている。学習面では、毎時間、全員が意見発表し、分からないことには、できるまで集中して取り組むことができる。家庭学習にも、ほぼ全員が意欲的に取り組んでいる。ただ、学級会など話し合いの場では、自分の考えを相手に上手に伝えることができず考え込んでしまったり、自分の考えを述べて、話し合いが終わってしまったり、友だちの話を聞くことが苦手な面も見られるため、内容に深まりが見られないのが現状である。また、人と関わる経験不足から、人数が増えた時の声の大きさなどで、場慣れしていない面が見られるのが特徴的である。

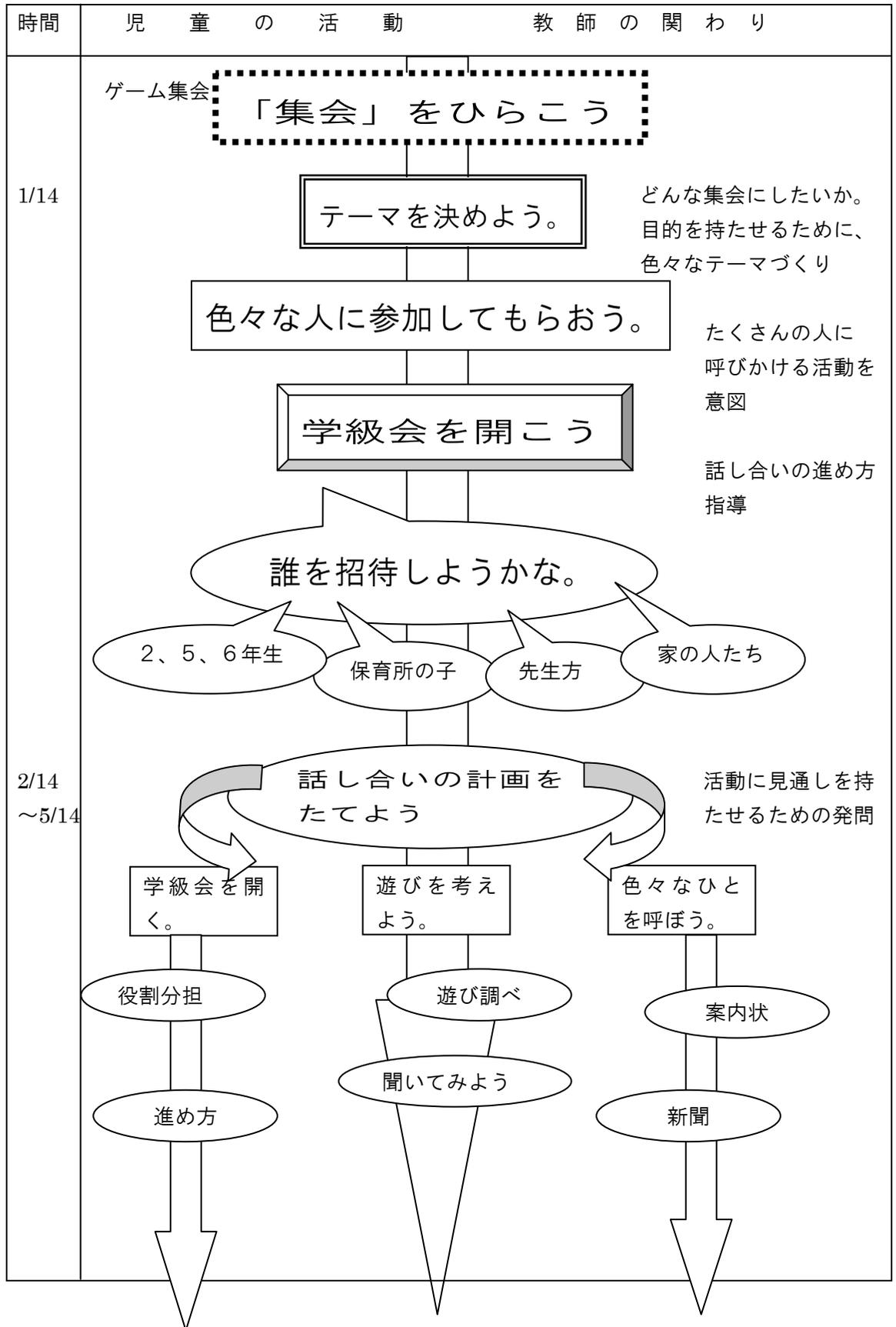
4、単元の目標

	3年生	4年生
関心・意欲・態度	・学級全体の話し合いに参加し、企画について、案内状を書き、たくさんの人たちに呼びかけることができる。	・学級全体の話し合いを積極的に進め、学級新聞を通して、企画をたくさんの人に呼びかけることができる。
話す・聞く力	・相手との考えの相違点や共通点を理解しながら、進んで話すことができる。	・自分の考えが分かるよう適切な言葉遣いで話したり、話の中心に気をつけて聞くことができる。
書く力	・相手や目的をはっきりさせて案内状を書くことができる。	・相手や目的、必要な事柄を調べ新聞の記事を書くことができる。
言語についての知識・理解・技能	・話し合いに応じた声の大きさや速さで話す。 ・案内状（手紙）の書き方を身につけ、そのために必要な語句を増やす。	・話し合いに応じた声の大きさや速さで話す。 ・新聞の書き方を理解し、適切な言葉遣い、内容で書くことができる。

5、本単元で重視する評価規準

	3年生	4年生
関心・意欲・態度	・話し合いに積極的に参加し、また、案内状を書いて、企画について報せようとする。	・学級全体の話し合いに参加したり、学級新聞を書いたりして集団生活に活かそうとしている。
話す力	・互いの考えの相違点や共通点を理解しながら話し合う。	・テーマに基づいた学級全体の話し合いに参加する。
書く力	・文章に気をつけて、案内状を書く。	・知らせたいことがよくわかる学級新聞を書く。
言語についての知識・理解・技能	・話し合いに応じた音量や速さで話す。案内状を書くために必要な語句を増やす。	・学級全体での話し合いに併せた話し方をする。また、新聞に合わせた適切な言葉遣いで書く。

6、単元の指導計画（14時間）

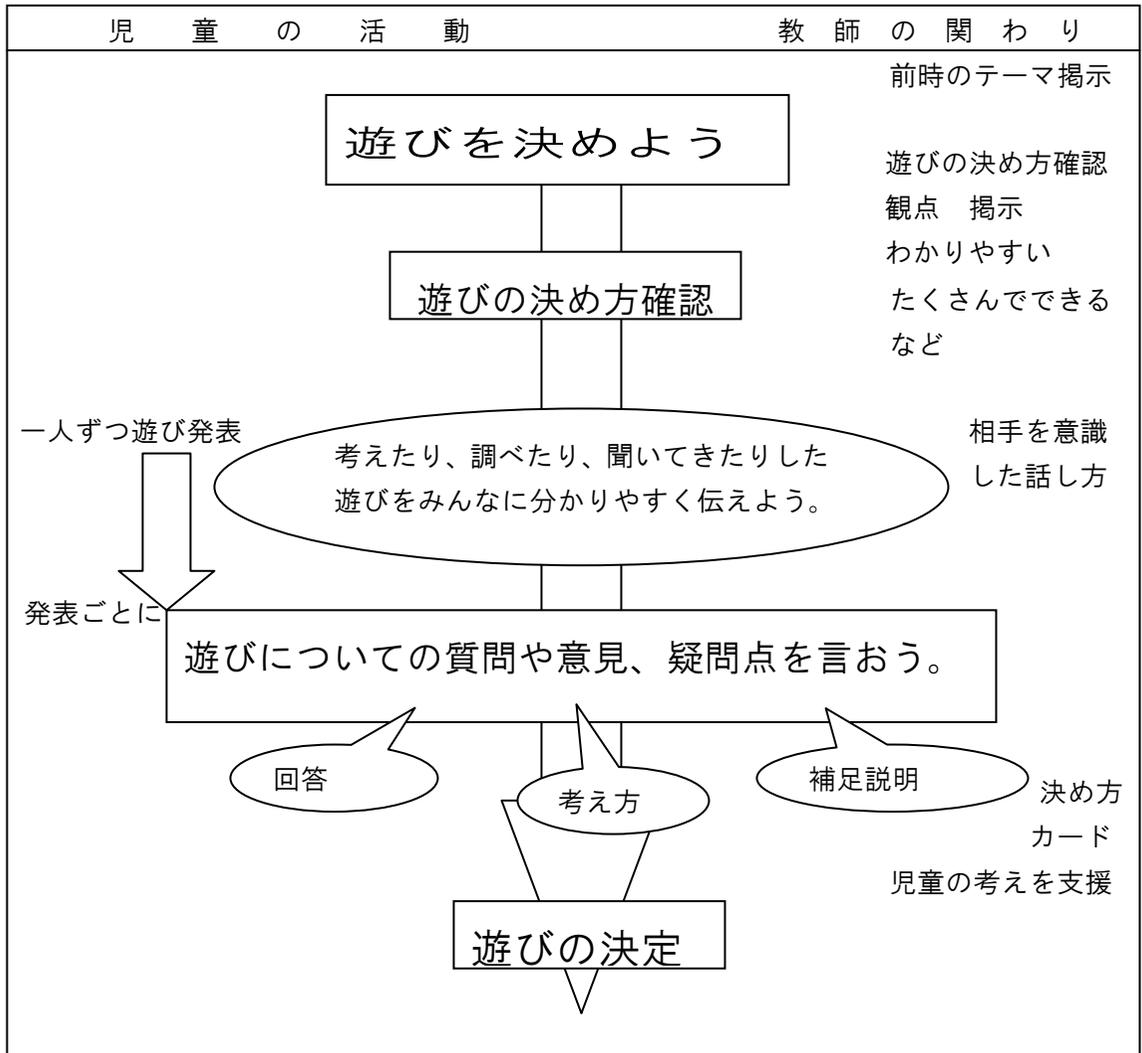


時間	児 童 の 活 動	教 師 の 関 わ り
6/14		<p>集会テーマの確認 話し合いでのゆさぶり</p> <p>司会 児童、</p> <p>一人ごとに内容を吟味していく。</p> <p>テーマに沿った内容か確認</p>
7/14～ 12/14		
13/14		<p>相手の良い面を評価できるように観点を明確にする。</p>
14/14		<p>(配布、発送、掲示)</p>

7、本時の展開（6/1 4時間）

（1）本時の目標

- ・自分で考えてきた遊びを分かりやすく相手に伝えることができる。
- ・発表をよく聞き、自分の考えとの共通点や相違点を見つけることができる。

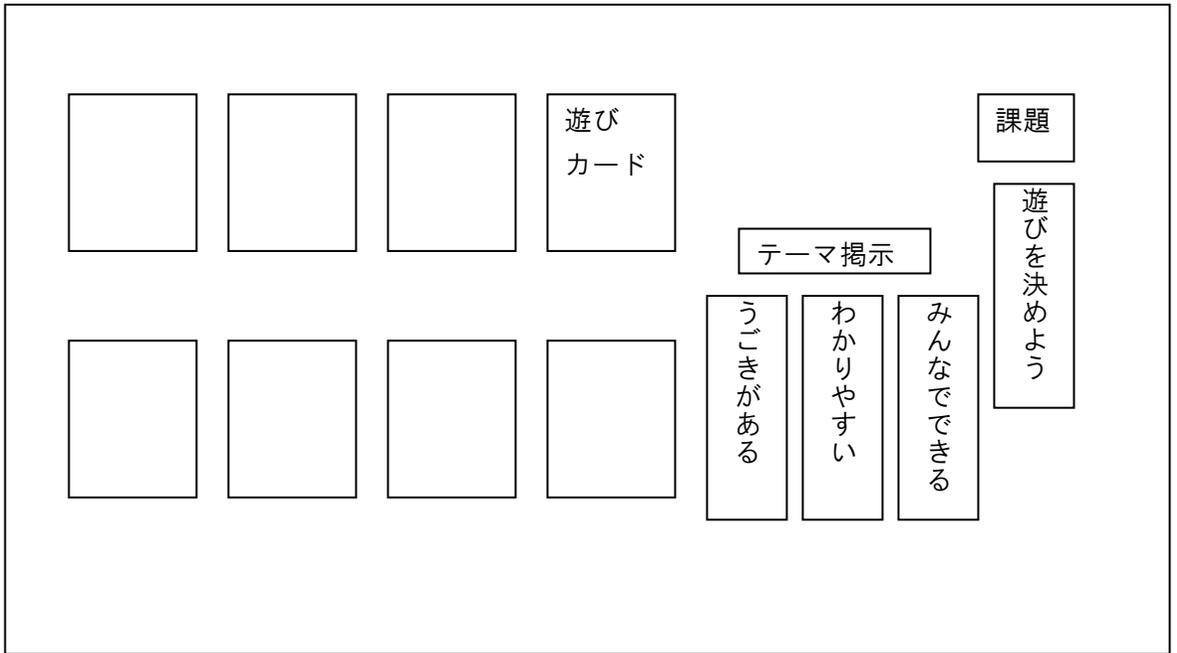


（3）本時の評価

- ・相手の発表を聞き、質問、意見、疑問点を見つけ、意見発表をすることができたか。

8、資料

①板書計画



②座席表

黒板

<p>A, U 学習には、意欲的に取り組んでいる。ただ、順序良く書くことには、苦手意識を持っている。意見発表に対しては、意欲的である。</p> <p>* 質問や疑問、意見を積極的に話せる力</p>	<p>M. W その日の気分により学習の波に乗れないこともある。また、自分本位な考え方をしがちである。書くことが苦手である。意見を発表しようとする意欲は見られる</p> <p>* 集中して、最後まで話し合いに参加できる力</p>	<p>S, K クラスのリーダー的存在であり、学習にも意欲的で、発言力もあるが、理論立てて話したり、練習したりしていないことには、自信が持てないことがある。</p> <p>* 相手の話をよく聞き、自分の考えを話せる力</p>	<p>G、I（3年生） 基本的学習能力が高いため、まとめる活動は得意だが、全体の場では、緊張して話せないこともある。また、その場で、考えで話すのも苦手である。</p> <p>* 自分の考えに自信を持って話せる力</p>
--	--	--	---

* この単元でつきたい力